

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input checked="" type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 2470
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2021	1	担当部課名 子育て・保険部 保険医療課	担当課長名 玉手 邦至

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	老人医療事業
財務会計上の事業名	老人医療事業
事業の対象(誰(何)を)	65歳以上70歳未満で、特定疾患、感染症法、自立支援法に係る医療を受けている者。
事業の手段(どうする(させる)ことで)	市広報にて制度の説明を掲載。
事業の目的(どのような結果を得るか)	障害者等の診療機会が多いことに配慮し、必要な医療が妨げられないことのないように図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和48年度～ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度～平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成18年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	大阪府老人医療費助成要領・池田市老人医療費の助成に関する条例

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		120,674		124,752	131,199		143,875		105.2%
内訳	人件費(人・千円)	1.30人	9,030	1.30人	8,770	1.60人	10,360	1.60人	10,400	118.1%
	正職員	1.00人	8,400	1.00人	8,200	1.20人	9,600	1.20人	9,600	117.1%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.30人	630	0.30人	570	0.40人	760	0.40人	800	133.3%
	支出合計 A		129,704		133,522		141,559		154,275	106.0%
財源	国・府支出金		58,008		60,186		61,141		52,986	101.6%
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		71,696		73,336		80,418		101,289	109.7%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標(1)	対象者(医療費・一部負担)	人	1,096	1,087	1,069	
成果指標(2)		一人当たり年間給付額	円	106,039	107,995	112,401		
活動指標(1)		対象者把握	%	100	100	100		
活動指標(2)		申請	%	100	100	100		

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C÷活動指標D	円	716,960	733,360	804,180		109.7%
受益者負担率	受益者負担B÷支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	池田市独自制度の撤廃。老人の傷病又は負傷について、老人が必要とする医療を容易に受けることができるように改正。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特になし	所得制限を設けることにより、医療費助成を受けられない対象者への理解が必要。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
平成21年10月末をもって、老人医療助成経過措置の廃止	所得制限を設けることにより、財政状況にあった事業となる。市独自事業の廃止。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 2315
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2021	2	4	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	高齢者ふれあい活動事業
財務会計上の事業名	高齢者ふれあい活動事業
事業の対象(誰(何)を)	65歳以上の市民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	65歳以上市民:毎月2回(15日と30日)公衆浴場を自己負担200円で利用
事業の目的(どのような結果を得るか)	高齢者等の交流の場の提供、健康づくり
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度~平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		6,480		5,040		2,880		2,880	
内訳	人件費(人・千円)	0.27人	1,972	0.27人	1,932	0.27人	1,892	0.27人	1,892	97.9%
	正職員	0.20人	1,720	0.20人	1,680	0.20人	1,640	0.20人	1,640	97.6%
	再任用職員	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	8,452		6,972		4,772		4,772		68.4%
財源	国・府支出金	1,300		0		0		0		-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	7,152		6,972		4,772		4,772		68.4%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	利用者数	人	21,432	17,482	13,714	18,000
成果指標 (2)		入浴券発行枚数	枚					
活動指標 (1)		利用者数	人	21,432	17,482	13,714	18,000	
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	334	399	348	265	87.2%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	高齢者などの交流の場の提供が必要であるため。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
府補助金が21年度から廃止	65歳未満の国保加入者を「高齢者ふれあい活動事業」趣旨に基づき対象者から除外する。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	2147
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2021	2	担当部課名	子育て・保険部 保険医療課
			担当課長名	玉手 邦至

1 事務事業の概要

施策名	保険料の収納率の向上
第3期実施計画の事業名	後期高齢者医療制度広域連合事業
財務会計上の事業名	後期高齢者医療保険料・賦課徴収事業(普通徴収)
事業の対象(誰(何)を)	75歳以上の高齢者(65歳から74歳までの方で一定の障害があると認められた方)
事業の手段(どうする(させる)ことで)	普通徴収対象者への口座振替の依頼。保険料滞納者への徴収員による訪問徴収。
事業の目的(どのような結果を得るか)	後期高齢者医療制度の対象者は、診療機会が多いことに配慮し、必要な医療が妨げられることのないように理解を求める。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成20年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成20年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	高齢者の医療の確保に関する法律

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		1,209		1,352		1,367		1,508	101.1%
内訳	人件費(人・千円)	0.80人	3,570	0.80人	3,410	0.80人	3,350	0.80人	3,400	98.2%
	正職員	0.30人	2,520	0.30人	2,460	0.30人	2,400	0.30人	2,400	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.50人	1,050	0.50人	950	0.50人	950	0.50人	1,000	100.0%
	支出合計 A		4,779		4,762		4,717		4,908	99.1%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		4,779		4,762		4,717		4,908	99.1%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	普通徴収対象者	人	2,702	2,978	4,229	
成果指標 (2)		口座振替率	%	58	86	76		89
活動指標 (1)		口座振替対象者	人	1,559	2,564	3,210		4,000
活動指標 (2)		特別徴収から普通徴収切り替数	人	791	765	1,216		1,000

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	3,065	1,857	1,469		79.1%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	平成25年4月を目処に、新しい高齢者医療制度の施行に向け現在検討中である。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
特になし	75歳以上の後期高齢者等を被保険者とする独立の保険制度であることの理解が不足しているため、広報等でより一層の理解を得ることが必要不可欠である。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
費用負担は、公費5割、現役世代からの支援4割と後期高齢者の保険料1割と明確化され、後期高齢者医療広域連合という運営主体を基盤とし、制度を社会全体で支える仕組みが定着した。	保険料や負担割合など、公平性の見地から収納率の向上が不可欠。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	2325
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	2022	1	1	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	シルバー人材センター補助事業
財務会計上の事業名	シルバー人材センター補助事業
事業の対象(誰(何)を)	おおむね60歳以上の市民を会員とする(社)池田市シルバー人材センター
事業の手段(どうする(させる)ことで)	高齢者に就業機会を提供(斡旋)するシルバー人材センターの運営を助成する
事業の目的(どのような結果を得るか)	高齢者の能力活用と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりを勧めるため、高齢者に就業機会を提供する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	高齢者の雇用の安定に関する法律

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		26,336		25,296		22,200		27,980	87.8%
内訳	人件費(人・千円)	0.27人	1,972	0.27人	1,932	0.27人	1,892	0.27人	1,892	97.9%
	正職員	0.20人	1,720	0.20人	1,680	0.20人	1,640	0.20人	1,640	97.6%
	再任用職員	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		28,308		27,228		24,092		29,872	88.5%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		28,308		27,228		24,092		29,872	88.5%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	会員数	人	623	606	599	660
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		会員数	人	623	606	599	660	
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	45,438	44,931	40,220	45,261	89.5%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 高齢者の就労意欲は盛んで、今後ともこの事業を継続していく必要があるため
---	---	---

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	事業仕分けによる国補助金の減額が予想される。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 2310
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2022	1	2	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	老人クラブ補助事業
財務会計上の事業名	老人クラブ補助事業
事業の対象(誰(何)を)	60歳以上で構成する30人以上のクラブ
事業の手段(どうする(させる)ことで)	活動に伴う経費の一部を助成
事業の目的(どのような結果を得るか)	高齢者の生きがい活動の助長、社会参加の促進、健全な団体の育成による活力ある地域づくりの促進を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	老人福祉法第13条第2項

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	7,461	7,663	7,623	8,843	99.5%			
内訳	人件費(人・千円)	0.14人, 1,204	0.24人, 1,386	0.24人, 1,338	0.24人, 1,338	96.5%				
	正職員	0.14人, 1,204	0.14人, 1,176	0.14人, 1,148	0.14人, 1,148	97.6%				
	再任用職員	0	0	0	0	-				
	非常勤職員	0	0	0	0	-				
	アルバイト	0	0.10人, 210	0.10人, 190	0.10人, 190	90.5%				
支出合計 A		8,665	9,049	8,961	10,181	99.0%				
財源	国・府支出金	1,597	1,462	1,595	1,507	109.1%				
	受益者負担 B					-				
	その他財源					-				
	一般財源 C	7,068	7,587	7,366	8,674	97.1%				

指標値	区分	内 容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標	(1) 会員数	人	3,432	3,194	3,143	3,500	
		(2)						
	活動指標	(1) 会員数	人	3,432	3,194	3,143	3,500	
		(2)						

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	2,059	2,375	2,344	2,478	98.7%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	自宅に引きこもりがちの高齢者の社会参加に繋がるため今後とも継続が必要。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	23年度以降、大阪府の補助金がカットされる予定 また、地域コミュニティーにこの事業を委ねる事を検討中。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	2350
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	2022	1	3	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	福祉バス運行事業
財務会計上の事業名	福祉バス運行事業
事業の対象(誰(何)を)	高齢者(65歳以上)、障害者、妊産婦
事業の手段[どうする(させる)ことで]	マイクロバスで市内の施設を循環運行
事業の目的[どのような結果を得るか]	高齢者の外出を支援し、引きこもりを防止
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 9年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	老人福祉法第13条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21	
	事業費(千円)		29,527		30,178		28,055		28,341	93.0%	
人件費	人件費(人・千円)	0.16人	1,026	0.26人	1,848	0.26人	1,810	0.26人	1,810	97.9%	
	内訳	正職員	0.09人	774	0.19人	1,596	0.19人	1,558	0.19人	1,558	97.6%
		再任用職員	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	100.0%
		非常勤職員		0		0		0		0	-
		アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		30,553		32,026		29,865		30,151	93.3%	
財源	国・府支出金									-	
	受益者負担 B									-	
	その他財源		317		94		35		159	37.2%	
	一般財源 C		30,236		31,932		29,830		29,992	93.4%	

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標	(1)	利用者数	人	100,848	97,991	99,852
(2)								
活動指標		(1)	運行台数	台	4	4	4	4
		(2)						

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	7,559,000	7,983,000	7,457,500	7,498,000	93.4%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 利用者数は一定数を保っている
---	---	------------------------------

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	受益者負担を検討

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 2450
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2022	1	5	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	敬老のつどい開催事業
財務会計上の事業名	敬老のつどい開催事業
事業の対象(誰(何)を)	65歳以上の高齢者
事業の手段[どうする(させる)ことで]	高齢者の福祉月間にあたり、高齢者に楽しいひとときを過ごしていただく
事業の目的[どのような結果を得るか]	高齢者の福祉月間にあたり、高齢者に楽しいひとときを過ごしていただく
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	老人福祉法第5条

2 事業コスト・指標値の推移

事業 コスト 等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		3,266		2,213		500		
内 訳	人件費(人・千円)	0.23人	978	0.23人	966	0.23人	934	0.23人	934	96.7%
	正職員	0.06人	516	0.06人	504	0.06人	492	0.06人	492	97.6%
	再任用職員	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.10人	210	0.10人	210	0.10人	190	0.10人	190	90.5%
	支出合計 A		4,244		3,179		1,434		1,634	45.1%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		4,244		3,179		1,434		1,634	45.1%

指標 値	区 分	内 容	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
D	成果指標	(1)	入場者数	人	2,000	1,200	450	1,000	
		(2)							
	活動指標	(1)	入場者数	人	2,000	1,200	450	1,000	
		(2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	2,122	2,649	3,187	1,634	120.3%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	案内ハガキの廃止 平成22年度から敬老会館で開催
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	22年度より文化会館での実施から敬老会館での実施

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	2300
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	2022	1	6	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	長寿祝金・祝品給付事業
財務会計上の事業名	長寿祝金・祝品給付事業
事業の対象(誰(何)を)	祝金 77、88、99、100歳以上 祝品 80、90歳
事業の手段(どうする(させる)ことで)	祝金:民生委員の家庭訪問、市長の高齢者宅訪問時に手渡し。祝品:宅配
事業の目的(どのような結果を得るか)	節目の年を迎えた方の長寿を祝う
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成23年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度 根拠となる法令の条項までを記入 池田市長寿祝金条例

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		22,913		9,016		9,625		10,291	106.8%
内訳	人件費(人・千円)	0.25人	1,500	0.26人	1,848	0.26人	1,810	0.26人	1,810	97.9%
	正職員	0.15人	1,290	0.19人	1,596	0.19人	1,558	0.19人	1,558	97.6%
	再任用職員		0	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.10人	210		0		0		0	-
	支出合計 A		24,413		10,864		11,435		12,101	105.3%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		24,413		10,864		11,435		12,101	105.3%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	祝金対象者	人	838	307	331	411
成果指標 (2)		祝品対象者	人	852	841	937	289	
活動指標 (1)		対象者	人	1,690	1,148	1,268	700	
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	14,446	9,463	9,018	17,287	95.3%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 80歳祝品の廃止
---	---	------------------------

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
80歳 祝品の廃止	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	2305
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	2022	1	7	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	金婚祝賀会事業
財務会計上の事業名	金婚祝賀会事業
事業の対象(誰(何)を)	結婚50周年を迎えた夫婦
事業の手段(どうする(させる)ことで)	結婚50周年を迎えた夫婦を招き、祝賀会を開催し祝う
事業の目的(どのような結果を得るか)	結婚50周年を迎えた夫婦を招き、祝賀会を開催し祝う
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	500		667		768		786	
内訳	人件費(人・千円)	0.26人	1,236	0.26人	1,218	0.26人	1,180	0.26人	1,180	96.9%
	正職員	0.09人	774	0.09人	756	0.09人	738	0.09人	738	97.6%
	再任用職員	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.10人	210	0.10人	210	0.10人	190	0.10人	190	90.5%
	支出合計 A	1,736		1,885		1,948		1,966		103.3%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	1,736		1,885		1,948		1,966		103.3%

指標値	区分	内 容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
D	成果指標	(1)	出席者数	人	91	152	176	190	
		(2)							
	活動指標	(1)	出席者数	人	91	152	176	190	
		(2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	19,077	12,401	11,068	10,347	89.3%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	出席者より大変この事業は喜ばれており、今後も継続予定
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
申込者が大幅に増加し、1日の実施では賄い切れず、2日間の実施が定着した。	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	2381
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	2022	1	8	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	福祉有償運送運営協議会事業
財務会計上の事業名	福祉有償運送運営協議会事業
事業の対象(誰(何)を)	NPO等運送事業者
事業の手段[どうする(させる)ことで]	福祉有償運送の許可に必要な利害関係との協議を行う協議会(市長主宰)を、北摂7市3町で共同で設置する。
事業の目的[どのような結果を得るか]	福祉有償運送の許可に必要な利害関係との協議を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	道路運送法施行規則第51条の8

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	5		4		7		13	
内 訳	人件費(人・千円)	0.15人	940	0.15人	924	0.15人	908	0.15人	908	98.3%
	正職員	0.08人	688	0.08人	672	0.08人	656	0.08人	656	97.6%
	再任用職員	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	945		928		915		921		98.6%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	945		928		915		921		98.6%

指標値	区 分	内 容	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	参加市町	市町	10	10	10	10	
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	審議件数	件	14	10	37	20	
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単 位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	67,500	92,800	24,730	46,050	26.6%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 費用対効果から市単独実施より有益である。
---	---	------------------------------------

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
近隣自治体も選択の理由と同様の考え	

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 2260
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2023	2	2	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	高齢者デイサービス事業
財務会計上の事業名	高齢者デイサービス事業
事業の対象(誰(何)を)	介護保険が非該当で、引きこもりがちな高齢者
事業の手段(どうする(させる)ことで)	共同利用施設等で、軽体操、創作活動などを実施
事業の目的(どのような結果を得るか)	引きこもり防止による介護予防
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		3,558		996		1,000		1,240	
内訳	人件費(人・千円)	0.10人	860	0.14人	840	0.14人	826	0.14人	826	98.3%
	正職員	0.10人	860	0.07人	588	0.07人	574	0.07人	574	97.6%
	再任用職員		0	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		4,418		1,836		1,826		2,066	99.5%
財源	国・府支出金		2,668		497		500		1,240	100.6%
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		1,750		1,339		1,326		826	99.0%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	通所者数	人	80	99	65	100
成果指標 (2)		延利用者数	人	1,611	2,095	2,379	2,100	
活動指標 (1)		実施回数	回	150	156	156	150	
活動指標 (2)		実施箇所	箇所	1	1	1	1	

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	11,667	8,583	8,500	5,507	99.0%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	一般高齢者介護予防施策として必要
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
年々利用者が増加傾向にあり、介護予防の一助となっている。	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 2260
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2023	2	3	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	高齢者日常生活用具等給付事業
財務会計上の事業名	高齢者日常生活用具等給付事業
事業の対象(誰(何)を)	低所得で独居や高齢者のみの世帯
事業の手段(どうする(させる)ことで)	火災警報機、自動消火器、電磁調理器、福祉電話の貸出し・給付
事業の目的(どのような結果を得るか)	火災予防、事故の防止、日常生活の向上を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	老人福祉法第3条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		198		220		177		255	80.5%
内訳	人件費(人・千円)	0.06人	516	0.07人	588	0.07人	574	0.07人	574	97.6%
	正職員	0.06人	516	0.07人	588	0.07人	574	0.07人	574	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		714		808		751		829	92.9%
財源	国・府支出金		0							-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		714		808		751		829	92.9%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	福祉電話	台	10	10	8	10
成果指標 (2)		日常生活用具等	台	2	0	0	2	
活動指標 (1)		給付台数	台	12	10	8	12	
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	59,500	80,800	93,875	69,083	116.2%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	給付数は減ってきているものの、扶助の観点から必要事業
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
給付台数は減少傾向にあるが、今後も必要と考える。	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
福祉電話については、携帯電話の普及により今後の検討が必要。	

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 2285
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2023	4	2	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	高齢者サービス総合調整推進事業
財務会計上の事業名	養護老人ホーム入所判定事業
事業の対象(誰(何)を)	65歳以上の高齢者
事業の手段[どうする(させる)ことで]	養護老人ホーム入所の判定委員の開催、地域ケア会議の開催により、保健・福祉・医療サービスの総合調整を図る
事業の目的[どのような結果を得るか]	養護老人ホーム入所の判定委員の開催、地域ケア会議の開催により、保健・福祉・医療サービスの総合調整を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	老人福祉法第10条の3 第11条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		27		26		27		54	
内訳	人件費(人・千円)	0.13人	1,118	0.13人	1,092	0.20人	1,640	0.20人	1,640	150.2%
	正職員	0.13人	1,118	0.13人	1,092	0.20人	1,640	0.20人	1,640	150.2%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	1,145		1,118		1,667		1,694		149.1%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	1,145		1,118		1,667		1,694		149.1%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	措置人数	人	21	22	21	23
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		入所判定委員会の開催	回	1	1	1	1	
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,145,000	1,118,000	1,667,000	1,694,000	149.1%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	年1度の入所者を判定する必要があるため。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
	入所判定の度に施設利用者の高介護度化が進んでいる。対応が困難にケースが発生してきている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 2340
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2023	4	3	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	高齢者見守り事業
財務会計上の事業名	高齢者見守り事業
事業の対象(誰(何)を)	65歳以上の市民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	民生委員・地区福祉委員に市で安否をできなかった高齢者の安否確認をしていただく
事業の目的(どのような結果を得るか)	民生委員・地区福祉委員による安否確認、その後の見守り活動へつなげ、高齢者が安全安心に暮らせる社会を目指す
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	池田市高齢者安否確認に関する条例

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	126	180	863	367	479.4%			
内訳	人件費(人・千円)	0.74人, 2,644	0.74人, 2,436	0.84人, 2,648	0.84人, 2,648	108.7%				
	正職員	0.14人, 1,204	0.14人, 1,176	0.14人, 1,148	0.14人, 1,148	97.6%				
	再任用職員	0	0	0.10人, 360	0.10人, 360	-				
	非常勤職員	0.60人, 1,440	0	0	0	-				
	アルバイト	0	0.60人, 1,260	0.60人, 1,140	0.60人, 1,140	90.5%				
支出合計 A		2,770	2,616	3,511	3,015	134.2%				
財源	国・府支出金			766		-				
	受益者負担 B					-				
	その他財源					-				
	一般財源 C	2,770	2,616	2,745	3,015	104.9%				

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	委員数	人					
	成果指標 (2)	安否確認依頼数	人	940	1,138	3,522	3,600	
D	活動指標 (1)	委員数	人					
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円					-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	増え続ける対象者に対して見守り事業は今後も更なる充実が必要
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
65歳以上全員を対象に安否確認を実施した。	元気な高齢者の増加に伴うものか？見守りを拒否される高齢者が多くなってきていたが、全員対象の安否確認には特に反対はなかった。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
本市は、大阪府下でも独居高齢者、高齢者だけの世帯がしめる割合が多く、今後この対象者の見守り態勢の構築が喫緊の課題である。	

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 2270
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2023	4	5	担当部課名 保健福祉部高齢介護課
				担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	高齢者緊急通報装置設置事業
財務会計上の事業名	高齢者緊急通報装置設置事業
事業の対象(誰(何)を)	65歳以上の独居または高齢者のみの世帯
事業の手段(どうする(させる)ことで)	緊急時に消防本部へ繋がる緊急通報装置(ペンダント)を貸出し
事業の目的(どのような結果を得るか)	救急、火災等緊急事態に対応する
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成12年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成21年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		8,186		6,859		6,746		7,345	98.4%
内訳	人件費(人・千円)	0.37人	2,182	0.37人	2,478	0.47人	3,224	0.47人	3,224	130.1%
	正職員	0.20人	1,720	0.27人	2,268	0.37人	3,034	0.37人	3,034	133.8%
	再任用職員	0.07人	252		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト	0.10人	210	0.10人	210	0.10人	190	0.10人	190	90.5%
	支出合計 A		10,368		9,337		9,970		10,569	106.8%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		10,368		9,337		9,970		10,569	106.8%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	設置台数	台	491	457	454	480
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		設置台数	台	491	457	454	480	
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	21,116	20,431	21,960	22,019	107.5%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	非課税世帯への一部負担の導入(H21~)
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	非課税世帯への一部負担の導入(H21~)

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 2330
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2023	6	担当部課名 保健福祉部高齢介護課	
			担当課長名 中田 雅夫	

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	在日外国人高齢者福祉金給付事業
財務会計上の事業名	在日外国人高齢者福祉金給付事業
事業の対象(誰(何)を)	大正15年4月1日以前生まれで公的年金のない方
事業の手段(どうする(させる)ことで)	国制度の対象外の在日外国人高齢者に福祉金を給付
事業の目的(どのような結果を得るか)	在日外国人高齢者の福祉の増進を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	老人福祉法第2条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	1,290	1,040	800	1,040	76.9%			
内訳	人件費(人・千円)	0.27人	1,972	0.27人	1,932	0.27人	1,892	0.27人	1,892	97.9%
	正職員	0.20人	1,720	0.20人	1,680	0.20人	1,640	0.20人	1,640	97.6%
	再任用職員	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	0.07人	252	100.0%
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	アルバイト	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	支出合計 A	3,262	2,972	2,692	2,932	90.6%				
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	3,262	2,972	2,692	2,932	90.6%				

指標値	区分	内 容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
D	成果指標	(1)	交付者数	人	10	8	8	8	
		(2)							
	活動指標	(1)	交付者数	人	10	8	8	8	
		(2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	326,200	371,500	336,500	366,500	90.6%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	年金の給付対象外の在日外国人高齢者に給付を行うため
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
徐々にではあるが、給付対象者は減っていている。	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 2361
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2024	1	担当部課名 保健福祉部高齢介護課	担当課長名 中田 雅夫

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	老人保健福祉施設整備事業
財務会計上の事業名	介護老人福祉施設整備助成事業
事業の対象(誰(何)を)	社会福祉法人
事業の手段(どうする(させる)ことで)	介護保険施設の整備資金の一部を助成する
事業の目的(どのような結果を得るか)	老人保健福祉計画に基づく介護保険施設の確保を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	16,115		10,753		10,753		10,753	
内訳	人件費(人・千円)	0.20人	1,220	0.20人	1,200	0.20人	1,180	0.20人	1,180	98.3%
	正職員	0.10人	860	0.10人	840	0.10人	820	0.10人	820	97.6%
	再任用職員	0.10人	360	0.10人	360	0.10人	360	0.10人	360	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		17,335		11,953		11,933		11,933		99.8%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	17,335		11,953		11,933		11,933		99.8%

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
D	成果指標	(1)	入所者定数	人	351	351	351	351	
		(2)							
	活動指標	(1)	助成件数	件	2	1	1	1	
		(2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	8,667,500	11,953,000	11,933,000	11,933,000	99.8%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	平成25年までは継続
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
前年と同様	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 3348
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2022		担当部課名 保健福祉部健康増進課	
			担当課長名 藤田 恵子	

1 事務事業の概要

施策名	関係機関との連携の強化
第3期実施計画の事業名	健康まつり
財務会計上の事業名	池田市民健康まつり事業
事業の対象(誰(何)を)	市民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	健康まつりの開催
事業の目的(どのような結果を得るか)	市民の健康意識の向上
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成20年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		6,357		4,961		2,826		2,506	
内訳	人件費(人・千円)	0.00人	0	1.21人	7,764	0.60人	4,080	0.60人	4,000	52.6%
	正職員		0	0.71人	5,964	0.40人	3,360	0.40人	3,280	56.3%
	再任用職員		0	0.50人	1,800	0.20人	720	0.20人	720	40.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		6,357		12,725		6,906		6,506	54.3%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		6,357		12,725		6,906		6,506	54.3%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H24)
	D	成果指標 (1)	公衆衛生、健康増進の意識向上	人	5,000	5,000	5,000	3,000
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		参加人数	人	5,000	5,000	5,000	3,000	3,000
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,271	2,545	1,381	2,169	54.3%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	市民の健康意識の向上及び健康増進
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
医師会、歯科医師会、薬剤師会等の健康普及活動と市民生活との接点の場となっている。 また、近年叫ばれて久しい禁煙活動へのサポート取り組みも年々強化している。	健康まつりとはいえ、福祉団体の活動発表やバザーなど健康関連とは少し離れた福祉関係の内容も多くみられている。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input checked="" type="checkbox"/> 特別会計 (老健特会)			財務会計上の短縮番号	8630
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	2021	1	2	担当部課名	子育て・保険部 保険医療課
				担当課長名	玉手 邦至

1 事務事業の概要

施策名	高齢者福祉の充実
第3期実施計画の事業名	老人保健医療給付事業
財務会計上の事業名	老人保健医療給付事業
事業の対象(誰(何)を)	75歳以上の高齢者(65歳から74歳までの方で一定の障害があると認めの方)
事業の手段(どうする(させる)ことで)	老人保健法に基づき対象者の保険医療に係る医療費のうち、自己負担以外を給付する。
事業の目的(どのような結果を得るか)	高齢者の診療機会が多いことに配慮し、必要な医療が妨げられることのないような制度である。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和58年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成18年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	老人保健法第25条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		8,979		0		0		
内訳	人件費(人・千円)	1.00人	8,400	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	-
	正職員	1.00人	8,400		0		0		0	-
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		17,379		0		0		0	-
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		17,379		0		0		0	-

指標値	区分	内 容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	対象者	人	9,347	64	0		
	成果指標 (2)	一人当たり年間給付額	円	85,844	243,214	0		
	活動指標 (1)	対象者	%	100	100	0		
	活動指標 (2)	申請	%	100	100	0		

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	173,790	0	0		#DIV/0!
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	平成22年度予算編成にて最終。平成23年度には、特別会計事業閉鎖(後期高齢者医療制度への移行)
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
平成22年度3月にて、池田市老人保健医療事業特別会計が廃止。	対象者が高齢のため、よりわかりやすい説明が必要とされる。一方、法改正に対象者への周知徹底されておらず、不満が感じられる。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
平成23年4月からの新たな医療制度(後期高齢者医療制度)への移管に対する、市民への理解が不足している。	対象者への周知や理解が必要なため、後期高齢者医療制度への理解を広報等を通じて進める。